

令和3年度

「運営に関する計画 中間評価」

大阪市立中大淀幼稚園

令和3年10月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 家庭で大切に育てられ穏やかで人懐っこい子が多いが、言葉で自分の気持ちを表現する経験に乏しく、新しい活動には消極的で環境の変化で不安定になる姿が見られる。園生活の中で就学前教育カリキュラムの「知・徳・体」をバランスよく取り入れた活動を行い、子ども達が主体的に楽しんで遊ぶ中で自己肯定感、思考力を育てる。
- 併設する大淀小学校との幼小連携、大淀保育所が対面にある立地条件をいかした幼保交流、近隣の大淀中学校との交流が本園の特色である。未就園児や地域の人とのかかわりの機会も多い。様々な人とふれあう中で周りの人に対する愛情や思いやりの気持ちを育てる。また併設小学校との交流活動を通して、就学への期待感を高めることができるようにする。
- 子育てに対しての保護者の関心は比較的高い地域ではあるが、各家庭様々で入園前の個人差も大きい。一人一人の実態に合わせた指導と、子どもたちの健康な体づくりのための基本的生活習慣の自立と食育の大切さを啓発していく。

### 中期目標

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は異年齢交流保育や様々な人との交流活動を実施し、触れ合うことができますか」「お子さんは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「子どもは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「子どもは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。
- ・ 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上にする。

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

### 学校園の年度目標

- 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は異年齢交流保育や様々な人との交流活動を実施し、ふれあうことができていますか」「お子さんは年度当初に比べて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分かりやすく発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。

## 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

### 学校園の年度目標

- 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。
- 令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは非常災害時に対する避難の仕方を身につけていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は異年齢交流保育や様々な人との交流活動を実施し、触れ合うことができていますか」「お子さんは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつことができるように、小学校との連携活動を工夫している」「地域の保育所や中学校と相互に理解を深め、交流活動を工夫している」の項目について「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>非常災害時に自分の身を守るための避難の仕方を身につけ、命の大切さに気づく保育を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画をたてそれに基づいて訓練を実施する。（預かり保育込） 年10回</li> <li>併設小学校との合同避難訓練、合同研修を実施する。 年3回</li> <li>関係諸機関や家庭と連携し避難訓練を実践する。 年2回</li> </ul>	B
<p>取組内容②【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>異年齢交流保育や地域の方とのふれあいを行い、様々な人とのかかわりを深める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内で異年齢交流保育や様々な人との交流活動を実施する。 週1回以上</li> <li>あいさつに関する取組を実施する。 年3回</li> </ul>	B
<p>取組内容③【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>小学校就学に向けて、なめらかな接続のための幼小連携に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼小交流の年間計画を作成し、交流活動を実施する。 年6回</li> </ul>	B

<p>・教職員が小学校教育を理解することができるように打ち合わせを実施する。 年 5 回</p>	
<p>取組内容④【施策 3、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 園の保育内容や取組を分かりやすく保護者・地域に発信し、園生活の中で育つ子どもの成長を伝え子育て支援につなげる。</p>	<b>B</b>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月クラスだよりを発行する。年 12 回</li> <li>・パワーポイントや写真掲示を使って園の取組を知らせる。年 5 回</li> <li>・ホームページの更新を行う。月 3 回以上</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の保育アンケート調査「お子さんは、非常災害時に対する非難の仕方が身についていますか」の項目について、肯定的評価が91%だった。</li> <li>・1学期は5月、6月（火災）、8月預かり保育（火災）2学期は9月（地震・津波）に実施した。実施後は、教職員で子どもへの指導方法や改善点を話し合い共通理解したうえで次の訓練にいかしている。訓練後、振り返りをおこない、「お・は・し・も」の視覚カードや、絵本・紙芝居を使って指導することで少しずつ子どもなりの意識の高まりが見られた。</li> <li>・9月3日の「大阪880万人訓練」は全体の訓練が13時30分からであり、降園後の時間になるので、保育時間中に幼稚園のみで行い、いざという時は小学校に避難することもあるということを知らせることができた。預かり保育に参加していた子どもは、全体の訓練の時間に参加し、小学生も一緒に避難するということができた。教職員も火事や地震だけでなく、津波に対する避難の仕方を再認識することができた。</li> </ul> <p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月のアンケート調査で「幼稚園は異年齢交流保育や様々な人との交流活動を実施し、ふれあうことができていますか」の項目は肯定的評価が100%、「お子さんは年度当初にくらべて、進んであいさつをしていますか」が96%であった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年通りの異年齢交流保育は難しい部分があったが、園庭で遊ぶ際には5歳児と4歳児と一緒に遊ぶ姿も見られ、その中で互いに親しみをもつことができた。</li> <li>・1学期、5歳児がクラスの活動としてサーキット遊びや「わくわくまつり」を行い、自分たちが考えた遊びを4歳児にも楽しんでほしいという思いから、4歳児を招待して遊ぶ機会をもった。5歳児は、4歳児に接する中で、自分なりに関わり方を工夫したり、優しさや思いやりの気持ちをもって関わろうとしたりする姿が見られた。4歳児は、存分に遊びを楽しみながら、憧れや刺激を受け、同じ遊びをやってみようとする姿が見られた。</li> <li>・地域の方との交流に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止になったものが多く、交流の機会をつくることは難しかった。</li> <li>・1学期、あいさつに関する取組としてあいさつ隊を実施した。その際、「あいさつのうた」のダンスを行ったり、グループ毎にあいさつに関する掲示物を作成したりするなどして、関心を高めることができるようにした。2学期以降もあいさつ隊を実施する予定である。</li> </ul> <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月のアンケート調査「幼稚園は遊びから学びへのつながりを大切にし、小学校に親しみをもつこと</li> </ul>	

ができるように、小学校との連携活動を工夫していますか」の項目は肯定的評価が100%であった。

- ・小学校との交流は、次の通り実施した。

3年生	七夕の集い
6年生	運動会の演技を見せてもらう・運動会の遊びを見せてもらう
5年生	音楽交流

小学生が優しく接してくれたり、活動を見せてくれたりすることで、親しみや憧れの気持ちを持ち、就学への期待につながっている。

- ・交流の前には活動の打ち合わせを行い、現状や子どもの実態に合わせて内容や方法を工夫し、幼小連携を進めることができた。

#### 取組内容④

- ・10月の保育アンケート調査「幼稚園は園の保育内容や取組を分りやすく保護者や地域に発信していますか」の項目について、肯定的評価が100%だった。
- ・毎月のクラスだよりでは、その月の子どもの頑張った姿や成長を担当が伝える機会となっている。幼児期の学びで大切な姿を太字にしたり下線を引いたりして教師のねらいや保育の意図を知らせている。年長、年少両クラスのクラスだよりを配付することで、年齢による発達の違いも知らせることができている。
- ・1学期の終業式には、保育参観ができなかった分、パワーポイントを使って日ごろの子どもたちの様子や、運営の計画の取組についても知らせることができ、幼稚園の教育内容の理解を深めることができた。小学校のホームページにも行事や幼小交流の様子など随時更新しながら保育内容や園の様子をわかりやすく伝えることができています。

#### 今後の改善点

#### 取組内容①

- ・今後も子どもたちが命を守る大切さに進んで気づくことができるよう、計画的に避難訓練を行う。
- ・訓練の大切さを伝えたりホームページで知らせたりしながら、保護者も一緒に訓練に参加できるように計画する。

#### 取組内容②

- ・感染防止対策を講じながら、異年齢での交流ができるように保育内容や環境の工夫をする。
- ・2学期・3学期もあいさつ週間を設ける。また、日頃からあいさつの大切さについて考えることができるような保育の工夫に努める。

#### 取組内容③

- ・年間計画に沿って幼小交流を実施する。
- ・早めに打ち合わせを行い、現状と子どもの実態に合わせた活動内容を工夫する。
- ・幼小の円滑な接続に努め、引き継ぎなどを行う。

#### 取組内容④

- ・引き続き、クラスだよりやホームページを更新しながら、園の教育活動を伝える。
- ・パワーポイントの写真だけではわかりにくい部分は、動画等を取り入れて更にわかりやすく発信する。

大阪市立中大淀幼稚園 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」「幼稚園の教育内容に満足していますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> <li>令和3年度の保育アンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を全園児で85%以上を維持する。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4、全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】</p> <p>教職員の資質向上を図り、一人一人の子どもの実態を把握し、子どもの興味・関心にあった保育内容や環境の工夫・充実につなげる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の打ち合わせを実施する。 週1回</li> <li>就学前教育カリキュラムを活用して環境を伴った週案・日案を立案する。 毎日</li> <li>園内研究保育や指導要請を実施する。 各学年3回</li> </ul>	B
<p>取組内容②【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>のびのびと体を動かして遊び、その楽しさを味わう子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿って体を動かす内容を取り入れた保育を行う。 年20回以上</li> <li>体を動かして遊びたくなるような内容を工夫し実践する。 年10回</li> </ul>	B
<p>取組内容③【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>自分の体を大切にしようという気持ちをもつことができるように、生活習慣の指導を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画を作成し、基本的な生活習慣に関する保健指導を行う。 年3回</li> <li>教職員がその時の状況に応じた病気・けが等の予防と対策について共通理解</li> </ul>	B

する。 ・清潔調べを実施する。 ・保健指導内容をパワーポイントや掲示などで保護者に知らせる。	年3回 月1回 学期1回					
取組内容④【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】 食べ物に興味関心をもつことができるよう、3色バランスよく食べることの大切さを指導する。 指標 ・食育だよりを発行する。年3回 ・朝食チェックシートを配付する。年3回 ・食育に関する保健指導を行う。年3回		B				
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析						
取組内容① ・10月のアンケート調査で「お子さんは、幼稚園に行くことを楽しんでますか」の項目は肯定的評価が98%、「幼稚園の教育内容に満足していますか」が100%であった。 ・職員間でクラスの様子や子どもの様子を伝え合うことで、教職員全員が一人一人の子どもを理解し、教師の働きかけにつながった。また、日々担任同士で当日や翌日、翌週、行事についてなどの話をし、それを他教諭に伝達することで共通理解をし、保育を進めることができた。 ・就学前教育カリキュラムを活用し、週案や日案を立案した。週案には「知」「徳」「体」の項目で反省を記入するようにしたことで、1週間の活動を振り返り、自分の保育を見直すことができた。日案では、ねらいや幼児の活動・教師の配慮・反省を記入することで、次の日の保育に備えることができ、日々の活動を振り返ることができた。 ・園内研究会については、6月・9月に各学年1回、7月・9月にOJTを2回実施した。就学前教育カリキュラムを活かした保育指導案の作成をしたり、教職員が保育を見合い、反省・意見交流の時間を設けたりすることで、保育に対する資質の向上につながり、子どもたちの次の活動へとつなげることができた。 取組内容② ・10月のアンケート調査で「お子さんは、様々な体験を通して、体を存分に動かして遊ぶことを楽しんでますか」の項目は肯定的評価が100%であった。 ・年間計画に基づきながら、各クラスの子どもの実態に合わせて体を動かす遊びを保育に取り入れることができている。 ・広い園庭を活かし、走ったり自転車に乗ったりしてのびのびと遊ぶ姿が見られる。 ・好きな遊びの時間に子どもが自由に遊ぶことができるように環境を整えることで、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ姿につながっている。 取組内容③ ・10月のアンケート調査で、「お子さんは基本的な生活習慣が身についていますか」の項目は肯定的評価が100%であった。 ・年度当初に保健指導年間計画を作成し、基本的な生活習慣について、1学期に3回保健指導を行った。指導の内容は次の通りである。 <table border="1" data-bbox="233 1935 1203 2033" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">4歳児</td> <td>手洗いうがいについて・歯磨き指導</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>歯磨き指導</td> </tr> </table> ・教職員への研修として、1学期には「コロナ禍における熱中症対策について」「冷房使用時の換気			4歳児	手洗いうがいについて・歯磨き指導	5歳児	歯磨き指導
4歳児	手洗いうがいについて・歯磨き指導					
5歳児	歯磨き指導					



について」2学期には新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて「園内の消毒箇所の確認」や「汚染物の処理の方法」について研修を行い、共通理解する場を設けた。

- ・月1回清潔調べを実施した。全体的にハンカチ・ティッシュを所持する子どもは増えていると感じるが、手を洗ったあとにハンカチで拭かないままの子どもや、爪が伸びたままでケガにつながる姿が見受けられたため、年齢に応じた清潔に関する指導を行う必要がある。
- ・1学期末の終業式で、保護者向けに1学期の保健指導の内容をまとめたパワーポイントを作成し、見ていただく時間を設けた。また、ほけんだよりで毎月の保健指導を掲載し、指導の狙いやその後の子どもたちの姿について保護者に知っていただくことができた。

#### 取組内容④

- ・10月のアンケート調査で、「幼稚園は『食育だより』や、食に関する掲示・朝食チェックシートなどを通して食の大切さを啓発している」の項目は肯定的評価が100%であった。
- ・1学期に2回、2学期に1回、食育だよりを発行した。時期に合った内容にしたことで、保護者の関心も高まったのではないかと考える。
- ・1学期に1回、朝食チェックシートを配付した。子どもの朝食の摂取状況や、朝食の内容について知ることができた。回収したシートを園内に掲示し、保護者や子どもたちが見ることができるようにしたことで、食について興味や関心をもつことにつながると感じた。
- ・夏野菜を収穫して持って帰るタイミングで「野菜カード」を配付し、自分たちで育て収穫した野菜を家庭でどんな風に調理して食べたのか、その感想などをかいていただいた。また、教職員もかいて掲示した。

#### 今後の改善点

#### 取組内容①

- ・日常的に保育の打ち合わせを行い、連携をとって保育を進める。
- ・就学前教育カリキュラムを活用し、「知」「徳」「体」がバランスよく育つよう保育案を立てる。
- ・園内研究保育や指導要請を実施し、保育の資質向上につなげる。

#### 取組内容②

- ・体を動かして遊ぶ楽しさを存分に味わうことができるよう、保育内容や環境設定の工夫をする。
- ・年間計画を活用し、体を動かす機会を増やすことができるように保育を進める。

#### 取組内容③

- ・今後も年間計画に沿って保健指導を行うが、子どもの実態や、地域の感染症の流行状況なども踏まえて時期に合った指導内容にする。
- ・時間にゆとりのある時期を活用し、教職員の研修を行う。今後、園内の実態や地域の感染症等の流行状況を踏まえて研修内容を十分に検討し実施する。
- ・今後も月1回の清潔しらべを実施する。ハンカチ・ティッシュの使い方や身の回りの清潔についての課題が見受けられるので、指導を行う必要がある。また、子どもたちの清潔について関心をもってもらうために、保護者啓発を行う。
- ・パワーポイントには、保健指導の他に保健に関する取組の様子も入れ、積極的に保護者に啓発をする。

#### 取組内容④

- ・今後も時期に合った内容の食育だよりを作成し配付する。園内での食育活動や食育指導の様子なども合わせて掲載することで、保護者への啓発をする。
- ・今後も引き続き、朝食チェックシートの配付を行う。朝食の大切さを知っていただくための指導

もあわせて行う。

- 子どもたちが楽しむことができるような教材作りの研究を行う。偏食や好き嫌い、食事時のマナーなどの指導も行う。